

県教委と県PTA理事との 合同研修会

平成30年8月28日(火)
於 グランデはがくれ



平成三十年八月二十八日「グランデはがくれ」において県教育委員会と県PTA連合会との合同研修会が開催されました。今年度は県教育庁の各部署の課題ごとに、教員の働き方改革を進め、児童生徒の安全確保や教育活動の支援をどのようにできるのかということテーマに意見交換をしました。

(1) 教職員課からは文科省の通達(個別業役割分担)の内容が示されました。

①基本的な学校以外が行う業務
②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要がない業務
③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

これらの学校の業務を市町や単位PTAごとに教育委員会や校長先生と話し合い役割分担を申し出る。または何ができるかを協議して欲しい。との県教委側からの依頼がありました。

江田明弘会長「先生たちが子どもと触れ合い、向き合う時間を今以上に確保できるように、先生たちの業務の精選に協力するため、地域や学校の実情に応じて話し合いをして欲しい」と述べた。

①家庭でできることは家庭で。
②親ができることは親が。
③学校でできることは学校で責任を持つて。

(2) 保健体育課からは今年8月に出た通達。

①毎月第三日曜日を部活休止。
②学期中は週二日以上は休養。
③平日は一日を休養日に。
④土日は一日は休養日に。
⑤長期休業中も長期休養日を設定。
⑥平日二時間、休業日は三時間程度活動。
⑦下校時間は日没、女子配慮の趣旨を理解し、本来の部活動の意義(心身の健全な育成と社会性の育成、克己心の育成、達成感の醸成)に戻るようにPTAでも校長先生と相談して啓発をしよう。

(3) 学校教育課の課題では

スマートフォンやSNSの所持率の増加により、様々なトラブルなどが増加して、いる実態が報告されました。買ってあげるのは親の責任だが、諸問題はそのほとんどが学校生活に出てくるので教職員が対応している。ここでも教職員の多忙化の原因の一つがある。親はどうすればいいのかとの意見交換の中で、

①購入時にフィルタリングを設定する。
②親子でルールを作ろう。
③県PTA新聞を利用して啓発活動を行う。

等が話し合われ、持たない、持たせない、持つてこない指導より、現実的に持つていくことを前提とした保護者向けの取り組みが必要。



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-22276
印刷 佐賀印刷社

発行責任者
会長 江田 明弘

語り合おう！
「家庭の日」
(毎月第三日曜日)

(4) 教育振興課

学力を上げるには、子どもの「非認知スキル」を高める必要がある。

「非認知スキル」とは

- ・物事を最後までやり遂げる達成感。
- ・失敗を恐れずに最後まで挑戦する根気
- ・自己肯定感
- ・自己主張をする力
- ・人と話し合う時、人の考えを受け止めて、自分の考えを持つ力。
- ・話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見の良さを生かし、折り合いをつけまとめる力。
- ・学級も皆で協力して何かをやり遂げ嬉しい気持ち。

保護者がすることは？

- ・子どもの良いところをほめて自信を持たせる。
- ・子どもに努力の大切さを伝える。
- ・子どもに最後までやり抜く大切さを教える。
- ・毎日子供に朝食を食べさせる。
- ・地域社会などでボランティア活動等に積極的に参加させる。
- ・学校の出来事、友達のこと、勉強や成績、将来の進路、地域や社会の出来事やニュースなどの会話が、多い。
- ・テレビやビデオ、DVDの時間を決めて見る。
- ・人の役に立つ人間になることを重視。
- ・保護者自身がPTA活動などに参加している。等々が出されました。

子どもたちと先生たちの充実した生活を確保するために、PTAは何ができるか単位PTAごとに校長先生と話し合います。

**第六十六回 日本PTA全国研究大会
第五十回 日本PTA関東ブロック研究大会**

新潟大会

教育は未来を拓く新潟発米百俵の精神！

～新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり～

平成三十年八月二十四日(金)～二十五日(土)



今年例年以上に猛暑日が多く、熱中症で体調を壊す人が全国的に増加した夏でした。そんな猛暑の中、全国から七五〇名を超える会員が集まり新潟県において「第六十六回日本PTA全国研究大会新潟大会第五十回日本PTA関東ブロック研究大会」が熱く盛大に開催されました。

一日目は佐渡を含め県内十会場の分科会に分かれて、基調講演、実践発表、パネルディスカッションなどが活発に行われました。

二日目の全体会では「夢を追いかけてつかんだ俳優人生」を演題に俳優の高橋克己氏の記念講演がありました。

ご自身の経験から、大人に改めて夢の大切さを知ってほしい、大人として自分自身を振り返りながら子どもたちの動機づけになるよう行動してほしいなど幼い頃から現在までの写真を見せて頂きながらのお話は、会場が笑いに包まれ和やかなものとなりました。

二日間で学んだ事をPTA活動に活かせる機会を頂き、新潟大会実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

平成三十一年度は兵庫大会が開催されます。

表彰受賞 おめでとうございます

優良PTA文部科学大臣表彰(二団体)
唐津市立打上小学校 育友会・後援会
武雄市立武雄北中学校育友会

PTA活動振興功労者表彰(一名)
松永 真治(元県PTA副会長)

日P団体表彰(二団体)
みやき町立三根中学校PTA
白石町立福富中学校PTA

日P個人表彰(二名)
井上 浩(前県PTA副会長)
石橋恵美子(前県PTA母親委員長)

日P特別表彰(十一名)
山崎 裕史(三養基郡)
今泉 昌之(神埼地区)
宮崎 悟(佐賀市)
唐島 由晃(小城市)
岸本 弘子(唐津地区)
山本 浩司(唐津地区)
辻 安秀(西松浦郡)
大串 成人(武雄市)
吉村 浩(杵島郡)
西村 悦子(杵島郡)
神近 純子(嬉野藤津)

ランドセル

我が子が通う学校は、小学校中学校と同じ校舎にあります。朝の登校は中学生が小学生をはさんで歩いて行っています。我が家の地区は学校までずっと坂道です。たくさん荷物を持つての登校は少しかわいそうになります。しかし、その分子どもたちの力となってくれそうです。

最初の長男の時は、「朝起きれるかな？」「ちゃんと歩いて行けるかな？」と親の方が不安だったのを覚えています。ランドセルが大きくてヨレヨレする姿。半分寝て歩く姿。そんな後ろ姿に、「今日も一日がんばれー!!」と願っていました。そんな息子を近所の中学生二人がはさんで連れて行ってくれて、ありがたすぎて助かりました。感謝です！

今ではその頃と比べて小さい子が増え、中学生がしっかりと下の子をはさんで登校。どの地区も同様で、しっかりと受け継がれています。小さな学校の同じ校舎で学ぶ小、中学校の子ども達。とても仲も良く、周りの保護者さん方、地域の方々にも愛される子ども達。人数は少ないけれど、そこから学べる事、少ないからこそ出来る事がたくさんあるはずなんです。

「今」を大切に。周りの方々への感謝を忘れず、大野原という自然豊かな地で生まれてきた事を誇らしく思える大人に育ってほしいと願っています。

大野原小中P 田中 智美



先人達の「思い」を胸に

大山小P

会長 岩崎 大輔

「おはよう」「おはようございませう」「今日はここにこしているね。何か良い事あった？」「あら、今日は元気のなかやんね」そんなやり取りで毎朝の登校が始まります。我が校の児童のほとんどは「みまもり隊」の方達と一緒に登校します。

東に黒髪山、西に国見山系、学校の側を有田川が流れ、自然豊かな環境に有田町立大山小学校があります。保護者である親の代やその上の祖父母の代も本校の卒業生が多く、地域ぐるみで子ども達を育て支えていく態勢（学校「家庭」「地域」の連携）の中で子ども達は素朴で素直に育っています。授業の中では「町探検」として地域で仕事をされている方を訪問したり、「昔遊び」



を地域の方に教えていただいたり、それぞれの学年で地域の方をゲストティーチャーとして地域に根付いた学習をしています。PTAにおいては、四つある専門委員の一つを今年度新たに「伝承委員会」という委員会に改組し、地域の歴史や文化に触れる機会を作る活動をしています。今年は唐船城の築城八百年、また明治維新百五十周年の記念の年という事で、同城の歴史、明治初期に有田町で活躍された偉人の所縁の場所をめぐる児童・保護者を対象としたバスツアーを行います。先人達の歩みに触れ、地域に対する情熱を感じる。自分達の地域を知ること、将来、故郷に対する「思い（愛着）」を持つてもらいたいと思っています。

近代化が進み、グローバル化が叫ばれている時代ですが、たとえ便利な世の中になっても、地域の中で支え合って生活をする、人と人とが直接会って温もりのあるやり取りを通して得られるもの等、時代が変わっても変わらないものの変えてはいけないものをきちんと理解できる人に育ってもらいたいと願っています。今日もみまもり隊の方達に見守ってもらいながらいつもの一日がスタートします。

共に育てる東川登小学校

東川登小育

会長 井手 貢

「やさしく かしくく たくましく」国道三十四号線沿いに見える体育館に掲げられた東川登小学校の学校目標です。本校は、全校児童九十一名の小さな学校です。



この写真は、水曜日を除く毎日、朝の時間に行われている「花まるタイム」の様子です。武雄市では、官民一体型の学校作りに取り組んでおり、民間の学習塾「花まる学習会」と連携した教育活動が行われています。東川登小学校は、武雄市で最初に官民一体型学校に指定された二校のうちの二校で、本年度で四年目の取組となります。

「花まるタイム」は、その取組のうちの一つで、子ども達が、音読や視写、計算、ブロックを使った学習や英語の学習に取り組んでいます。

育友会でも、全会員が当番制で「花まるタイム」に参加し、花丸をついたり、褒めたり、励ましたりしています。決められた時間で集中して問題を解く真剣な表情、花丸をもらい喜ぶ子ども達の笑顔は、私たち保護者に元氣と笑顔を分けてくれてい

ます。割り当てに関係なく、何度も足を運び参加している保護者も数多くいます。

育友会だけでなく地域の方々も「地域の子どもは地域で育てよう」のスローガンのもと「花まる先生」として「花まるタイム」に参加してくださいます。公民館の方や区長さんなど、毎回十名を超える方々が、自主的に参加し、共に子ども達を育ててく

だします。また、今年度は、東川登町の子ども達からお年寄りまで参加する「コスモス街道づくり」の取組が「内閣総理大臣表彰」を受けました。子ども達は、そんな東川登に誇りをもち、郷土愛も育っています。

東川登小学校では、学校・保護者・地域が「やさしく かしくく たくましく」の目標のもと、共に子ども達を育てています。これが我が校の自慢です。

我が校の自慢

鹿島東部中P

会長 中島 貞紀

鹿島東部中学校は、日本三大稲荷の祐徳稲荷神社や、ガタリンピックが行われる干潟公園、浜宿酒蔵通り等が校区にあり、そんな風光明媚なところに建つ校舎の教室棟等が、平成二十六年十二月に、新しく建て替えられて、完成しました。外観は、鉄筋コンクリートの三階建てでよく見られる校舎の作りですが床や壁等の内装に、木材がふんだんに使われていて、温かみのある作りになっています。また最近では必需品になっている、エアコンも完備されており、今年



子でも出入りがしやすくなりました。災害時の避難場所に指定されていますので、このような設備が整っていると安心して避難できそうです。この新しくなった学校で、生徒たちはいろんなことを、頑張っています。勉強はもちろんのこと、今年は部活動等で、その結果が出ています。先の中体連

ですが、サッカー部が地区大会準優勝で県大会出場を決めて、その県大会で目標にしていた九州大会出場を、十五年ぶりの優勝という形で結果を出してくれました。また、卓球部は部員数こそ少ないですが、長年教えてくださっている顧問の先生の下、アットホームな雰囲気ながら、厳しい練習をして、男子団体戦と男子個人戦で県大会に勝ち進み、団体戦では二回戦で惜しくも敗退しましたが、個人戦では三位に入り、九州大会出場を決めました。その他にも、全日本中学ボウリング選手権に出場した三年生の女子生徒が、見事優勝し、日本一になりました。団体への出場も決定し、二重の喜びになりました。

これからも、増々自慢できる東部中学校になるように、生徒に寄り添うPTA活動をしていきたいと思っています。

県校長会県PTA連合会

主題「親も子も ともに成長！ ともに進化」

平成三十年九月十四日(金) 於 グラウンデはがくれ

合同研修会

佐賀県小中学校校長会と佐賀県PTA連合会理事・母親委員の合同研修会を開催しました。小・中学校校長先生二十七名、佐賀県PTA連合会理事・母親委員二十六名、合計五十三名の参加でした。主題に沿って小・中学校別に校長先生より提言があり、地域と学校の連携を通じての学校づくりで成果をあげたことが報告されました。

小学校部会提言

鹿島市立北鹿島小学校
校長 井上 俊明

テーマ

地域の宝、子どもたちを豊かに育て、守るための学校PTA・地域が一体となった教育活動の推進

PTAと地域の連携

- 一、体験活動支援会議（地域諸団体と一体となった活動）
- 一年 なかよしといっぱい大作戦
- 二年 町探検に行こう！昔遊びをしよう
- 三年 北鹿島のじまん海苔と大豆とみそ
- 四年 守ろう北鹿島川
- 五年 北鹿島の米作りのすばらしさをみんなに伝えよう
- 六年 平和について学ぼう・地元鹿島のことをもっと知り発信しよう

発信しよう

全学年韓国との交流・合同運動会・ふれあいタイム・感謝のつどい・読み語り等地域・PTAの協力を得た、各学年様々な体験活動に取り組んでいる。体験活動を通して、机上の学習では学ぶことができない貴重な学習を展開することができ、また郷土を愛する心を学んでいる。

中学校部会提言

唐津市立七山小中学校
校長 北川 正行

テーマ

感謝の心を育み自立へ向かう子供を育てる育友会活動
地域の力を基盤にした小中育友会活動の一体化に向けて

（校外指導部）

- 児童生徒の健全育成と安全安全対策等
- （文化厚生部）
- 会員相互の親睦と教養の向上のための研修や広報活動等
- （環境整備部）
- 学校及び地域社会の教育的環境の整備充実
- （母親部活動）
- 児童生徒の健康官営のための諸活動

その他、育友会と一緒に人権講話人権コンサート（MONさん）などを行っている。

七山小中育友会の協力意識と協力体制。
「学校のことは協力せんば」
・七山地域の学校の意識が高く、「よその子もうちの子」という意識が強く地域ぐるみで子どもたちを見守っている。





数ある自慢から

鳥栖中P

広報委員長

古賀

剛

鳥栖市立鳥栖中学校は、昭和二十二年に創立され七十年以上の歴史を持つ学校です。市内でも中心に位置し、生徒数六五〇人を超す大きな学校の割には珍しく!?ほとんどの生徒が徒歩で通学しています。

我が校の数ある自慢の中から、二つ紹介します。

一つ目は、今年度改修工事を行ったトイレです。男子女子共に綺麗になり、和式が洋式になりました。しかも、何というこ

ランジェンダーへの配慮もあるみたいです。電気も自動で点灯し、手洗いも自動で学校とは思えない設備です。大事に使いたくなるトイレとなりました。



二つ目は体操部です。九州大会、全国大会の常連校で本年度も九州大会で男子団体二位、女子団体二位という成績を残しています。過去十年を振り返りまして

我が校の自慢

思斉館小P

会長

田中

博

「見賢思斉」賢を見ては斉しからことを思う。不賢を見ては内に自らを省みるなり。(優れた人物を見たなら、努力目標にすることである。賢くない行いを見たら、自己反省の資とすることである)孔子の論語が由来の学校名です。

思斉館は久保田町にある小中一貫校です。九年間を見通しての教育が取り組まれています。その中でも学校と地域が連携して行っている行事の一つが、毎年夏休みにある思斉の郷まつりです。イベントの中心となることは小中学部による発表です。今年は吹奏楽部の演奏や地元の悠久太鼓の演奏、思斉ソーラン、じゃんけん大会など、子ども達が司会進行などを行います。計

社会に貢献できる取り組み

浜玉中P

会長

井上

武

浜玉中学校は、佐賀県北部の唐津市浜玉町にあります。

浜玉町は、山や川、そして海に面した自然豊かな町です。

今回、我が校のたくさんある



画、実行することでの経験や夏休みの思い出づくりになっていると思います。今年の露店販売では、親子での販売をしました。地域の方とのふれあいや親子の協力など、絆も深まったと思います。また久保田町に対する愛着を持つてくれたらと思います。先生達も露店協力をしてもらい普段、学校では見られない姿が新鮮で子ども達も喜んでいました。

「恩送り」という言葉があります。恩を受けた人に返すのは「恩返し」。受けた恩を直接相手に返すのではなく周りの似た誰かに送ることが「恩送り」。その送った恩は巡り巡って恩を受けた人や家族や友人に届いていく。この「恩送り」のように子ども達が大人になった時にこの祭りを思いだして、親や地域の人達がしていた姿を繰り返し子ども達へ見せて欲しいです。

自慢の中から一つ、生徒会活動をご紹介します。

浜名中学校では、代々受け継がれている『命の宣言』や『時間、掃除、あいさつ』を大切にしようという浜玉中三訓があり、この教えを受け継ぎながら生徒会は活動しています。学校内での活動はもちろん、他にも学校周辺でのボランティアとして町内のゴミ拾いや清掃、募金活動、知的障害者施設での夏祭りにもボランティアスタッフとして参加したりしています。

そして、これらの活動に加えて平成二十六年度より『福島ひまわり里親プロジェクト』に参加するようになり、今年で五年目となります。

二〇一一年の三月十一日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災。ひまわりを育て種をとり、福島に送り返す事で被災地の復興につながり、何か社会に

これこそ見賢思斉の精神だと思っています。今後も学校・保護者・地域と連携・協力しながら子ども達の成長を楽しみながら温かく見守っていききたいと思っています。



SAGA私立高校生徒募集のお知らせ

	龍 谷	佐賀清和	佐賀女子	佐賀学園	北 陵	敬 徳	弘 学 館	東 明 館	早稲田佐賀
学 科 名	特別進学科	特別進学科	食物科	普通科	電子科 電気科	普通科	普通科	普通科	普通科
	普通科	探求文理科	トータルビューティ科	商業科	建築科 土木科	自動車整備科			
		普通科	普通科	情報処理科	自動車科 航空科				
		情報ビジネス科	衛生看護科		生活文化科				
出願期間	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	前期:1月9日(水)～ 1月10日(木) 後期:1月23日(水)～ 1月24日(木)	11月26日(月)～ 12月 7 日(金)	A日程:11月22日(木)～ 12月10日(月) B日程: 1月23日(水)～ 1月24日(木) C日程: 2月 4 日(月)～ 2月12日(火)	1月入試:12月1日(土)～ 12月21日(金) 2月入試: 1月24日(木)～ 2月15日(金)
試 験 日	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	前期:1月17日(木) 後期:1月31日(木)	1月6日(日)	A日程:1月5日(土) B日程:1月31日(木) C日程:2月16日(土) (推薦は12/26)	1月入試:1月12日(土) 2月入試:2月16日(土) (推薦は12/16)
備 考			普通科音楽コース・美術コースは筆記試験等の翌日に実技試験を実施 前期:1月18日(金) 後期:2月 1 日(金)		推薦及び奨学生採用試験は、前期試験で実施します。奨学生採用試験は後期試験でも実施します。	前期試験は、推薦・AO及び特待生採用の試験となります。 ※通信制課程 有		推薦の出願期間は11月22日(木)～12月10日(月)※A・B・C日程の出願期間はWeb出願を記載しております。郵送出願・窓口出願は期間が異なりますので、ホームページ等でご確認ください。	推薦の出願期間は12月1日(土)～12月9日(日)
電話番号	(0952)24-2244	(0952)37-5400	(0952)24-5341	(0952)30-4281	(0952)30-8676	(0955)22-6191	(0952)98-2161	(0942)92-5775	(0955)58-9000

※詳細については各学校にお問い合わせください。

佐賀県私立中学高等学校協会 TEL0952-37-9181 佐賀市兵庫北2丁目14番1号(佐賀清和中学校・高等学校内)



